

伸びよう 伸ばそう 青少年



青少年育成稲敷市民会議の主な事業

3つの基本姿勢

- (1) 子どもや青少年をしっかりと見つめる
- (2) 大人が変われば子どもも変わる
- (3) さんかけ運動を推進する

(1) 子どもや青少年をしっかりと見つめる

市内の子どもや青少年の実態を把握し、私たち大人がやるべきことを見極め活動することが大切です。



学校と合同であいさつ運動を実施

(2) 大人が変われば子どもも変わる

「子どもは、社会を映す鏡」そんな考えに立ってみると、私たち大人が、まず、しなければならぬことがあります。それは、親や大人が自らの姿勢を正し、子どもの手本になるとともに、社会全体のモラルや地域の教育力を高めていくことではないでしょうか。身近なところから、できることから始めましょう。

(3) さんかけ運動を推進する

「さんかけ運動」は『青少年 気にかけて 目をかけ 声かけよう』のキャッチフレーズで、子どもや青少年をいつも多くの大人が気にかけていて、また、みんなが目を向けていて、必要なら一声かけようという運動です。

いつも気にかけてたり、目をかけることによって、子どもや青少年の実態を知るだけでなく、大人との絆づくりを期待しようというものです。



『のぼり旗』の作成

青少年の健全育成を目的とした啓発のぼり旗を作成し、市内の園・小中学校・公民館などへ掲げ、推進運動を展開

活動内容

青少年育成稲敷市民会議ではこのような活動をしています。

『映画会』の開催

7月に青少年向けの映画を上映しています。幼児から小学校、中学校の児童・生徒まで、多くの方々に来場していただいております。



『ボランティア清掃活動』

子ども会育成連合会と合同で清掃活動を行っています。毎年、100名を超える方々に参加いただいております。



『講演会』の開催

「青少年健全育成講演会」を稲敷市PTA連絡協議会と合同で開催しています。著名人を講師に招き、さまざまなテーマで講演いただきます。また、市内1校の代表校よりPTAの実践発表をいただいております。

研修会等への参加

青少年に対する理解を深めることを目的とし、青少年の心理を理解した接し方や具体的な対応等の助言などを学ぶため、茨城県や近隣地域で開催される研修会等へ参加しています。



『広報紙』の発行

市民会議の活動内容を広く市民の方にお知らせするため、広報部を中心に広報紙「わかくさ」を発行し、市内全戸へ配布しています。



『あいさつ運動』の実施

年2回、学校と合同で「あいさつ運動」を実施。子どもたちは元気な声であいさつをしてくれて、私たちも元気をもらっています。

『主張大会』の開催

大会部を中心に「稲敷市青少年の主張大会」を開催しています。青少年が考えていることを社会に主張することで、社会の一員としての役割を自覚すること、また、大人が青少年の理解と認識を深めることが目的です。



第16回稲敷市青少年の主張大会
会場：あずま生涯学習センター
*市内4小学校、中学校、
高等学校の代表者が主張発表

『主張大会作文集』の発行

稲敷市青少年の主張大会の作文集を作成し、市内各戸に回覧しています。最新の作文集を図書館・各公民館でご覧いただけます。



青少年育成稲敷市民会議
事務局:稲敷市教育委員会 生涯学習課
(江戸崎中央公民館内)

稲敷市江戸崎甲2148-2
TEL 029(892)2000(代表)
FAX 029(892)3664